

第29回マルちゃん杯東北少年柔道大会実施要項

- 1 目的 柔道の試合を通して心身の鍛練及びその技能を磨き、将来を担う東北地区の少年相互の親睦を図り、明るく、そしてたくましい少年の健全育成を目的とする。
- 2 主催 東北柔道連盟 東洋水産株式会社
- 3 主管 秋田県柔道連盟
- 4 後援 (公財)全日本柔道連盟, 秋田県, 秋田県教育委員会, 秋田市, 秋田市教育委員会
(公財)秋田県体育協会, (一財)秋田市体育協会, 秋田県スポーツ少年団
秋田魁新報社, A B S 秋田放送, A K T 秋田テレビ, A A B 秋田朝日放送, F M 秋田
ベースボールマガジン社「近代柔道」
(株)ユナイトホールディングス ((株)伊徳, (株)タカヤナギ)
- 5 日時 平成28年5月15日(日) 開 場 7時00分
監督・審判会議 7時50分
開 会 式 8時30分
試合開始 開会式終了後
閉会式予定 16時00分頃
- 6 会 場 秋田県立武道館 大道場
〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄2-2 TEL018-862-6651
- 7 参加資格 (1)対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中に在籍している者であつて、全日本柔道連盟に登録(団体登録)をしている「学校」, 「道場」, 「クラブ」, 「スポーツ少年団」単位とする。(未登録チームは出場できないので、登録をしていないチームは速やかにWEBで団体登録を行うこと。)
(2)選手は、出場するチームを通して、全日本柔道連盟登録(競技者登録)をしていること。なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
(3)監督は、全日本柔道連盟登録(指導者登録)をしていること。また、「試合場におけるコーチの振る舞いについて」(別紙1参照)に従って行動すること。複数のチームの監督を兼任することはできない。
マルちゃん杯全日本少年柔道大会へ東北代表として出場するチームの監督は、平成28年度より、全柔連指導者登録資格B以上、もしくは学校顧問特例資格を取得した者。
(4)選手本人の出場意志を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。
(5)皮膚真菌症(トンズランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。
(6)選手の氏名、学校名、身長、体重等のプログラム掲載、及び大会結果、写真等の新聞掲載等の取り扱いについて、参加申込用紙の提出により、承諾したものとする。ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出ること。
- 8 審判規定 (1)試合は国際柔道連盟試合審判規定及び国内大会における「少年大会特別規定」による。
(2)試合時間は、各部ともに2分とする。但し、小学生の部における決勝戦、及び中学生(男子・女子)の部における準々決勝以上は3分とする。

- (3)勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。

9 試合方法

- (1)試合方法は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
(2)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
①勝者数の多いチームを勝ちとする。
②①で同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。
③②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
⑤④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。
(3)代表戦においては、通常の2分間の試合を行い、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決定する（GSは行わない）。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。
(4)選手のオーダーは、負傷・事故防止のため体重の重い選手から順に大将から配列するものとする。なお、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする

10 表彰

- (1)上位4チームまでの入賞チームを、秋田県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状（第3位まで）及び賞品を授与する。
(2)入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッドワダ杯を授与する。
(3)入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部5名（中学生女子の部は3名）に優秀選手賞を授与する。
(4)入賞チームの中から敢闘選手を選考し、小学生の部、中学生の部（女子の部無し）各部1名ずつ神永昭夫杯、1名に天野芳太郎杯を授与する。
(5)平成28年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会開催日及び出場チーム数
①平成28年9月19日（月・祝）東京武道館で開催。
②小学生の部上位4チーム。
③中学生男子の部上位6チーム。《5位決定戦を行い2チームを決定する》
④中学生女子の部上位2チーム。
なお、全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。
(6)出場者全員全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

11 申込方法

- (1)申込期限 平成28年4月15日（金） 必着 ※期間厳守のこと
上記期限までに申請書（別紙）により郵送すること。
(2)申込先
秋田県柔道連盟
〒010-0974 秋田県秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内
TEL018-874-9790 FAX018-874-9793 E-mail info@akita-judo-federation.com

12 選手変更

- (1)申込期限後の選手変更は認めない。
(2)申込期限後の選手変更は大会当日に選手変更届で申し込むこと。
(3)選手の体重の増減によるオーダー変更がある場合は届け出ること。
(4)申込期限後または、大会中に選手を変更する場合は、補欠より補充し、改めて体重の重い順に大将から配列すること。
(5)大会中のに負傷等によって変更した選手は、以後の試合に出場できない。

13 組み合わせ

平成28年4月28日（木）に大会事務局において行う。

14 参加費

無料である。

15 その他 (1)ゼッケンについて

柔道衣に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。付けていない選手は出場できない。

図1 ゼッケンの縫付方

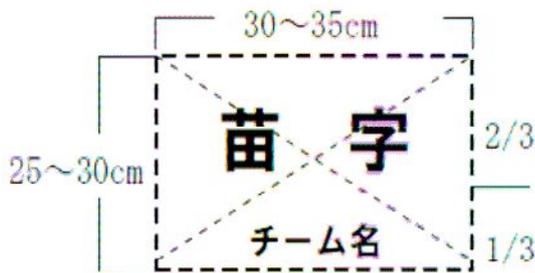
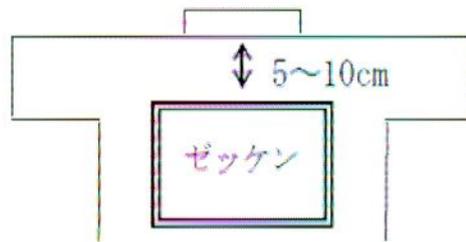


図2 ゼッケンの縫付位置



- ①布地は白色の晒太綾，サイズは概ね横30~35cm・縦25~30cmとする。
- ②後ろ襟から5~10cm下部に点線部分を縫い付ける（対角線も縫い付けること）。
- ③上2/3に苗字，下1/3にチーム名をゴシック体または明朝体（楷書）で記載し，男子は黒文字，女子は赤文字とする。
- ④チーム内に同じ苗字（姓）の選手がいる場合は，名前の1字を記載する。

(2)脳震盪について

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は，脳神経外科の診察を受け，出場の許可を得ること。
- ②大会中，脳震盪を受傷した者は，継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお，至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。）
- ③練習再開に際しては，脳神経外科の診断を受け，許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し，書面により事故報告書を提出すること。

16 傷害保険

- (1)主催者は，参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。（参加者は健康保険証を必ず持参すること）
- (2)主催者は，大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに，傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
- (3)万一の事故の発生に備え，各チーム独自で傷害保険等に参加するなどして，万全の事故対策を立てておくこと。

17 宿 舎

各チームで手配すること。

18 個人情報，肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報，大会中に撮影された写真，動画が大会プログラム，大会ホームページに掲載される場合があります。また，その他の報道機関等により，新聞，雑誌，テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。提出された個人情報については，上記目的以外に使用することはありません。参加申込用紙の提出により，上記取り扱いについての承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

【問い合わせ先】

秋田県柔道連盟
〒010-0974 秋田県秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内
TEL 018-874-9790 FAX 018-874-9793 E-mail info@akita-judo-federation.com